



第一礼拝次第

説教：森山剛兄

司会：安慶名栄輝執事

ピアノ：渡慶次さやか姉 オルガン：平田千佳子姉

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「こんなに愛されているんだから」 「あがめます主の御名」	〃	
聖書朗読	マタイ 28章 18-20節	司会	
祈禱	(新約聖書 p60)		
スペシャル	CCC チーム		
賛美	新生 14	会衆	
説教	「行って弟子とする」	森山剛兄	
祈禱			
賛美	新生 557	会衆	
献金	伊波光子姉 伊波英真兄 新善勇栄兄 渡真利なおみ姉		
報告		司会	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第 (19:00)

CCC ナイト

CCCメンバーによる、証しやメッセージ!

プレイズ：「御霊によって」

「感謝の心」

讃美：新生 363・新生 385



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利千佳子姉

司会：知念尚美姉 奏楽：玉城由利子姉

聖書：列王記下 4：25-37

メッセージ：「手に手を重ねて」

<巻頭言>

「沖縄バプテスト連盟略史①」

牧師 渡真利彦文

沖縄バプテスト連盟は今年 125 年を迎えました。その連盟の歴史を 3 回に分けてお伝えします。

1891 年 12 月 25 日、原三千之助師 沖縄講義所を開設。1892 年、タムソン宣教師来沖、沖縄初のバプテストマ式が行われる。同年秋、川勝鉄弥師(原三千之助師の恩師)来沖。1899 年、那覇バプテスト教会・教会組織。糸満と那覇以外にも首里、嘉手納、西原、垣花と各地に講義所が開かれ、会堂が建てられ、教会として進展していく。しかし、太平洋戦争の戦況が厳しくなるにつれ活動は縮小され、戦火により全ての会堂は失われることになった。

1945 年、信徒は四散し、戦後復興を果たすことができたのは那覇教会だけとなってしまった。灰塵に帰し、全員が収容所状態の中から福音宣教の芽生えが始まった。教会への所属意識もなく、信徒たちは賛美を捧げ、御言葉を読み、戦争の傷を癒していたのであった。県内に残っていた教職者たちのほとんどは戦死し、長老や執事たちの手で礼拝が行われ、牧会がなされる時代が続いた。バプテスト教会にとって、疎開して難を逃れた照屋寛範牧師の存在は幸運であったといえる。廃墟の中、照屋寛範牧師の帰郷は大きな励ましとなり、教会復興が進められた。1946 年に照屋寛範牧師は前原(現在の前原バプテスト教会)で伝道を開始、伊波盛次郎牧師は金武(現在の金武バプテスト教会)において開拓、近隣に多くの集会がもたれ、今日までにいくつかの群れは教会となっている。